

スマホ・ネットの上手な使い方を学びました（PTA 講演会・学校保健委員会）

10月2日(金)、本校体育館において PTA 講演会・学校保健委員会を開催し



ました。講師には、松本市立奈川小中学校教頭であり、「子どもとメディア信州」副理事長を務めておられる小川文徳様をお招きし、「実例で学ぶ スマホ・ネットの上手な使い方」と題してご講演いただきました。

講演では、実際に起きた事例をもとに、「ネットでは普通の子どもが被害者にも加害者にもなってしまうことがある」というお話がありました。また、悪意のある人は一枚の写真からでもさまざまな個人情報を読み取ることができることから、「心配なものはネット上に載せないことが大切」と教えていただきました。

SNS などへの投稿については、①悪口、②誰かの秘密、③自分の個人情報、④



性的な内容の4つは「絶対に書いてはいけない」と、強く呼びかけられました。



ゲームとの付き合い方についてもお話がありました。講師から「ゲームをする上で心配なことは？」と質問されると、高等部の生徒からは「課金かなあ」という声が上がりました。その後、実際のトラブル事例を交えながら、「ネットの『無料』は本当の意味

で無料ではない」と分かりやすく説明していただきました。

ネットトラブルを防ぐために大切なこととして、小川様は「相手意識」を持つことの重要性を挙げられました。画面の向こうにも相手がいることを意識し、相手の気持ちを考えて行動することで、多くのトラブルは防ぐことができるとのことでした。これはネットの世界だけではなく、普段の生活でも同じことだというお話が印象的でした。



また、スマートフォンへの依存を防ぐためのアプリの紹介もあり、生徒だけでなく、保護者や職員も熱心に耳を傾けていました。そして、本当に大切なのは、

- 友達との直接の会話
- 運動やスポーツ
- 読書
- さまざまな体験活動
- 家族とのコミュニケーション

など、日常生活を充実させることだとお話してくださいました。

最後に、「困ったことが起きたら、一人で抱え込まず、できるだけ早く大人に相談しましょう」とメッセージをいただきました。



難しい内容も、具体的な事例を交えながら分かりやすく説明していただき、生徒も保護者も職員も引き込まれる充実した講演会となりました。ネットが身近な時代だからこそ、一人一人が正しい知識を身に付け、上手に活用していくことの大切さを改めて学ぶ機会となりました。